



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社東京會館

上場取引所 東

コード番号 9701 URL <https://www.kaikan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 訓章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 蛭原 望

TEL 03-3215-2111

定時株主総会開催予定日 2024年6月21日

配当支払開始予定日

2024年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	14,883	15.5	1,047	357.8	986	257.2	1,535	515.3
2023年3月期	12,885	53.4	228		276		249	70.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	459.67		17.9	3.8	7.0
2023年3月期	74.71		3.4	1.1	1.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	26,430	9,597	36.3	2,873.56
2023年3月期	25,219	7,532	29.9	2,255.07

(参考) 自己資本 2024年3月期 9,597百万円 2023年3月期 7,532百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,936	624	517	5,512
2023年3月期	1,073	333	465	4,718

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期				20.00	20.00	66	26.8	0.9
2024年3月期				30.00	30.00	100	6.5	1.2
2025年3月期(予想)				30.00	30.00		12.4	

### 3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,990	1.2	290	6.3	250	5.0	160	24.2	47.90
通期	14,920	0.2	1,160	10.7	1,080	9.5	810	47.2	242.50

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	3,463,943 株	2023年3月期	3,463,943 株
期末自己株式数	2024年3月期	123,855 株	2023年3月期	123,764 株
期中平均株式数	2024年3月期	3,340,131 株	2023年3月期	3,340,323 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	1 1
(継続企業の前提に関する注記) .....	1 1
(セグメント情報等) .....	1 1
(持分法損益等) .....	1 1
(1株当たり情報) .....	1 1
(重要な後発事象) .....	1 1

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束により社会経済活動が正常化し、回復基調のなかで推移しました。一方、常態化する円安やコストプッシュ型の価格上昇、不安定な国際情勢や自然災害等の影響など、景気の下振れリスクが存在しており、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社はコロナ禍により遂行が阻まれていた「現有資産の収益力を最大限に引き出す」という経営課題に対してスピード感をもって取り組みました。コロナ禍では多くの需要が消失したため、短期的な視点での事業ミックスやオペレーションを余儀なくされましたが、感染症が収束した当事業年度は、三代日本館建築計画で描いた本来的な姿での収益力の最大化を指向した運営への転換を図るとともに商品・サービスの付加価値向上に努め、ブランド力の強化を図りました。また、持続的成長のための「経営基盤の強化」が重要であるとの認識の下、その柱の一つである人的資本分野においても環境整備に取り組み、業績の急回復を支える従業員の報酬アップや各部門における業務の質の向上など、「働きがいがある」組織づくりのための諸施策を実行し、継続的な組織力向上を図ってまいりました。

当事業年度の売上高は、宴会・食堂・売店その他の全ての部門で前期に比べて増加し、14,883百万円(前期比1,998百万円増加)となりました。コロナ禍からの回復は前事業年度後半から勢いが増しましたが、当事業年度は更に加速してコロナ禍以前の売上高を超えるに至りました。回復が遅れていた営業所も本館と遜色がない水準まで回復が進み、本館および各営業所が足並みを揃えて売上高の向上に寄与しました。経費面では、仕入価格高騰や供給不安があるなか、原材料を計画的に合理的なコストで調達する工夫をおこない、人材については全社横断で機動的に再配置をおこなうなど、その効率性を高めてまいりました。その結果、営業利益は1,047百万円(前期比818百万円増加)となり、経常利益は986百万円(前期比710百万円増加)となりました。また、繰延税金資産の評価を見直したことなどにより当期純利益は前事業年度から大幅に増加し、1,535百万円(前期比1,285百万円増加)となりました。

これを部門別にみますと

宴会部門につきましては、コロナ禍収束後の法人需要を取り込むべく継続してきた営業活動が結実し、法人需要を中心に一般宴会の売上高が大幅に増加しました。また、前事業年度において既にコロナ禍前の水準を超える売上高を計上した婚礼も引き続き好調に推移しました。この結果、一般宴会、婚礼合計の宴会部門売上高は10,576百万円(前期比15.9%増)となりました。

食堂部門につきましては、人流の回復がさらに顕著となり来客数も大幅に増加し、季節感豊かなメニューの考案や各種フェアの実施、ニーズに合わせたプランの提案等を積極的におこなうなど創意工夫に励んだ結果、各店舗で連日の賑わいを見せました。また、本館「ブルニエ」が「ミシュランガイド東京2024」において一つ星を連続して獲得するなど、ブランドの価値向上への取り組みが成果として発現しました。

その結果、東宝日比谷プロムナードビルに新規開店したレストラン「D r a p e」の売上も加わり、売上高は3,164百万円(前期比19.1%増)となりました。

売店・その他の営業につきましては、館内販売では、宴会部門での引き菓子が伸びたほか、環境への配慮から生まれたアイデア商品も好評価をいただき、食品部門では、顧客の店舗回帰が顕著となった百貨店等において伝統の焼菓子や半生菓子を中心に店舗での販売が好調でありました。また、オンラインショップでは個人・法人の各お客様へ訴求できるサイトを構築しており、その販売も引き続き好調でありました。その結果、売上高は1,143百万円(前期比3.3%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前事業年度末に比べて1,210百万円増加し26,430百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が794百万円、有価証券が500百万円、投資有価証券が861百万円それぞれ増加し、有形固定資産が830百万円、長期前払費用が134百万円それぞれ減少したことであります。

負債は、前事業年度末に比べて854百万円減少し16,832百万円となりました。その主な要因は、未払金が108百万円、未払法人税等が138百万円それぞれ増加し、長期借入金が240百万円、リース債務が229百万円、前受金が119百万円、繰延税金負債が572百万円それぞれ減少したことであります。

純資産は、当期純利益の計上などにより、前事業年度末に比べ純額で2,065百万円増加し9,597百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて6.4ポイント増加して36.3%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ794百万円増加し、5,512百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は1,936百万円となりました。

これは主に税引前当期純利益882百万円に、減価償却費783百万円、減損損失104百万円等の非資金取引による増加、売上債権の増減額80百万円等による運転資本の増減によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は624百万円となりました。

これは主に有価証券の取得による支出800百万円、保険積立金の積立による支出168百万円、有価証券の償還による収入300百万円、保険積立金の払戻による収入190百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は517百万円となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出240百万円、リース債務の返済による支出210百万円によるものであります。

### (4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、金融政策の転換やタイトな労働市場などの不安要因はありながらも、景気の回復基調は維持され、賃金と物価の好循環が実現することが期待されます。

このような状況の下、当社は「中期経営計画（2023～2025年度）」の2年目にあたる2024年度におきましては、「現有資産の収益力を最大限に引き出すこと」と「経営基盤の強化」を重点テーマとして掲げた経営計画を引き続き推進してまいります。当経営計画の数値目標は2023年度において大幅な超過達成となったため、2024年度以降新たな数値目標を掲げ、その目標の達成に向けて邁進してまいります。一般宴会は大型宴会の受注が増加し、婚礼の受注状況は引き続き好調に推移している現在の状況において、現有資産の収益力を最大化するためには、これまで以上にブランド価値に訴求した受注活動が重要になると考えております。そのためにも、大正11年の創業以来の企業理念である「確かな味とサービス、格調高い施設を提供することで、我が国の食文化の発展に貢献すること」の具現化を通じて「期待を超える上質な味とサービス」をお客様に提供してまいります。また、これらの活動が企業価値のさらなる向上に通じるものと確信しております。

当社は、今後も引き続きコーポレートガバナンスやコンプライアンス体制の充実とリスク管理体制の更なる強化を図るとともに、企業としての社会的責任を果たすべくサステナブルな社会を実現するための経営課題にも積極的に取り組んでまいります。

なお、2025年3月期の通期業績予想につきましては、売上高は14,920百万円(前事業年度比0.2%増加)、営業利益は1,160百万円(前事業年度比10.7%増加)、経常利益は1,080百万円(前事業年度比9.5%増加)を見込んでおります。当期純利益につきましては、前事業年度における繰延税金資産の計上による一過性の税金費用減少がなくなるため前事業年度から減少し、810百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,718,691	4,512,896
売掛金	554,581	634,853
有価証券	1,000,000	1,500,000
商品及び製品	12,608	12,158
仕掛品	6,284	8,558
原材料及び貯蔵品	126,588	142,219
前払費用	112,101	112,549
未収入金	14,723	11,529
その他	41,827	28,383
貸倒引当金	△283	△256
流動資産合計	5,587,124	6,962,892
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,104,827	14,010,285
減価償却累計額	△2,656,080	△3,185,415
建物(純額)	11,448,746	10,824,869
構築物	180,030	180,030
減価償却累計額	△24,229	△29,937
構築物(純額)	155,801	150,092
機械及び装置	252,781	277,997
減価償却累計額	△222,713	△229,991
機械及び装置(純額)	30,068	48,005
車両運搬具	19,121	14,834
減価償却累計額	△16,481	△14,599
車両運搬具(純額)	2,639	234
工具、器具及び備品	705,188	720,203
減価償却累計額	△528,834	△559,142
工具、器具及び備品(純額)	176,353	161,060
土地	1,958,224	1,958,224
リース資産	1,998,162	1,997,253
減価償却累計額	△858,200	△1,058,550
リース資産(純額)	1,139,962	938,703
有形固定資産合計	14,911,795	14,081,191
無形固定資産		
リース資産	29,578	20,921
電話加入権	3,009	3,009
無形固定資産合計	32,587	23,930
投資その他の資産		
投資有価証券	2,479,667	3,341,055
従業員に対する長期貸付金	1,864	966
長期前払費用	1,437,363	1,302,856
敷金及び保証金	180,535	180,295
保険積立金	520,565	482,286
その他	67,834	54,689
投資その他の資産合計	4,687,831	5,362,150
固定資産合計	19,632,214	19,467,272
資産合計	25,219,339	26,430,164

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	221,835	242,678
短期借入金	360,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
リース債務	228,696	230,138
未払金	1,023,205	1,132,154
未払法人税等	73,932	212,779
未払消費税等	250,373	243,881
未払費用	66,601	65,424
前受金	283,944	164,759
預り金	62,304	66,964
賞与引当金	115,500	223,000
流動負債合計	2,926,393	3,181,780
固定負債		
長期借入金	11,520,000	11,280,000
リース債務	1,083,362	852,736
繰延税金負債	737,732	165,407
退職給付引当金	881,182	811,674
資産除去債務	63,817	59,619
長期預り保証金	474,500	481,000
固定負債合計	14,760,593	13,650,438
負債合計	17,686,987	16,832,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金		
資本準備金	925,002	925,002
その他資本剰余金	1,317,364	1,317,364
資本剰余金合計	2,242,367	2,242,367
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	1,748,305	1,697,270
繰越利益剰余金	△654,109	865,483
利益剰余金合計	1,094,196	2,562,754
自己株式	△443,759	△444,076
株主資本合計	6,592,815	8,061,056
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	939,536	1,536,889
評価・換算差額等合計	939,536	1,536,889
純資産合計	7,532,351	9,597,945
負債純資産合計	25,219,339	26,430,164

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	12,885,690	14,883,779
売上原価		
営業原価	11,860,712	12,964,259
売上原価合計	11,860,712	12,964,259
売上総利益	1,024,978	1,919,520
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	5,865	34,269
給料及び手当	411,293	401,278
賞与	19,282	16,542
賞与引当金繰入額	9,000	17,500
退職給付費用	7,645	7,450
租税公課	75,787	89,556
減価償却費	14,749	2,332
地代家賃	27,387	25,246
消耗品費	18,018	5,718
雑費	131,172	185,087
保険料	22,811	20,205
交際費	20,041	20,743
その他	33,042	45,713
販売費及び一般管理費合計	796,097	871,645
営業利益	228,881	1,047,875
営業外収益		
受取利息	150	858
受取配当金	45,203	57,500
生命保険配当金	6,238	5,607
助成金収入	130,533	—
営業時間短縮等協力金収入	164,786	—
受取保険金	7,000	11,923
その他	9,901	15,968
営業外収益合計	363,813	91,857
営業外費用		
支払利息	96,502	92,267
コミットメントフィー	2,749	2,757
信託手数料	73,802	55,960
助成金返還損	143,431	—
その他	10	2,250
営業外費用合計	316,495	153,236
経常利益	276,198	986,496
特別損失		
減損損失	—	104,405
特別損失合計	—	104,405
税引前当期純利益	276,198	882,091
法人税、住民税及び事業税	55,874	182,671
法人税等調整額	△29,216	△835,941
法人税等合計	26,658	△653,269
当期純利益	249,539	1,535,361



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計
				固定資産 圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	3,700,011	925,002	1,317,364	2,242,367	1,799,340	△954,683	844,656
当期変動額							
固定資産圧縮積立金の取崩					△51,034	51,034	-
当期純利益						249,539	249,539
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	△51,034	300,574	249,539
当期末残高	3,700,011	925,002	1,317,364	2,242,367	1,748,305	△654,109	1,094,196

	株主資本		評価・換算 差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
当期首残高	△443,170	6,343,865	778,714	7,122,579
当期変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩		-		-
当期純利益		249,539		249,539
自己株式の取得	△589	△589		△589
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			160,821	160,821
当期変動額合計	△589	248,950	160,821	409,772
当期末残高	△443,759	6,592,815	939,536	7,532,351

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計
				固定資産 圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	3,700,011	925,002	1,317,364	2,242,367	1,748,305	△654,109	1,094,196
当期変動額							
剰余金の配当						△66,803	△66,803
固定資産圧縮積立金の取崩					△51,034	51,034	—
当期純利益						1,535,361	1,535,361
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	△51,034	1,519,592	1,468,557
当期末残高	3,700,011	925,002	1,317,364	2,242,367	1,697,270	865,483	2,562,754

	株主資本		評価・換算 差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
当期首残高	△443,759	6,592,815	939,536	7,532,351
当期変動額				
剰余金の配当		△66,803		△66,803
固定資産圧縮積立金の取崩		—		—
当期純利益		1,535,361		1,535,361
自己株式の取得	△317	△317		△317
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			597,353	597,353
当期変動額合計	△317	1,468,240	597,353	2,065,593
当期末残高	△444,076	8,061,056	1,536,889	9,597,945

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	276,198	882,091
減価償却費	771,237	783,638
長期前払費用償却額	70,168	70,168
減損損失	-	104,405
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△128,558	△69,507
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,500	107,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	75	△26
受取利息及び受取配当金	△45,353	△58,358
保険配当金	△6,238	△5,607
支払利息	96,502	92,267
助成金収入	△130,533	-
協力金収入	△164,786	-
信託手数料	73,802	55,960
支払手数料	2,749	2,757
助成金返還損	143,431	-
受取保険金	△7,000	△11,923
売上債権の増減額(△は増加)	△242,858	△80,271
棚卸資産の増減額(△は増加)	△22,803	△17,455
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△41,103	17,214
長期前払費用の増減額(△は増加)	66,541	13,772
仕入債務の増減額(△は減少)	104,460	20,843
その他の流動負債の増減額(△は減少)	254,509	87,570
その他	17,144	1,382
小計	1,105,085	1,996,422
利息及び配当金の受取額	45,353	58,358
保険配当金の受取額	6,238	5,607
利息の支払額	△96,703	△91,902
助成金の返還額	△143,431	-
助成金の受取額	171,120	-
協力金の受取額	164,786	-
信託手数料の支払額	△24,377	△6,400
法人税等の支払額	△157,167	△51,225
支払手数料の支出額	△2,749	△2,749
保険金の受取額	7,000	28,255
その他の支出	△1,627	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,073,528	1,936,366

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△800,000
有価証券の償還による収入	-	300,000
投資有価証券の取得による支出	△252,388	△418
有形固定資産の取得による支出	△40,631	△149,061
有形固定資産の売却による収入	-	1,600
貸付けによる支出	△1,000	-
貸付金の回収による収入	766	898
敷金及び保証金の差入による支出	△21,760	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	240
保険積立金の積立による支出	△18,591	△168,457
保険積立金の払戻による収入	-	190,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,604	△624,794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△240,000	△240,000
自己株式の取得による支出	△589	△317
配当金の支払額	△29	△66,051
リース債務の返済による支出	△224,634	△210,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,253	△517,366
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	274,670	794,205
現金及び現金同等物の期首残高	4,444,021	4,718,691
現金及び現金同等物の期末残高	4,718,691	5,512,896

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業は、レストラン・宴会事業及びこれらに関連した業務を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は、関連会社および開示対象特別目的会社を有しておりません。

## (1株当たり情報)

前事業年度		当事業年度	
1株当たり純資産額	2,255.07円	1株当たり純資産額	2,873.56円
1株当たり当期純利益	74.71円	1株当たり当期純利益	459.67円

(注)1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度	当事業年度
当期純利益(千円)	249,539	1,535,361
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	249,539	1,535,361
期中平均株式数(株)	3,340,323	3,340,131

(重要な後発事象)

該当事項はありません。